

OPERA PALACE Tokyo
NATIONAL BALLET OF JAPAN
New National Theatre, Tokyo

新国立劇場2025/2026シーズン
バレエ&ダンス
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO
2025/2026 SEASON
BALLET & DANCE



Kenneth MacMillan's

MANON

The National Ballet of Japan

新国立劇場バレエ団 マノン

芸術監督 吉田 都 指揮: マーティン・イエーツ 管弦楽: 東京交響楽団

振付: ケネス・マクミラン 音楽: ジュール・マスネ 編曲: マーティン・イエーツ 美術・衣裳: ©ニコラス・ジョージアディス 照明: 浜田裕二

Artistic Director: YOSHIDA Miyako Conductor: Martin YATES Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

Choreography by Sir Kenneth MACMILLAN Music by Jules MASSENET Music Arranged and Orchestrated by Martin YATES
Set and Costume Designer: ©Nicholas GEORGIADIS Lighting Designer: SAWADA Yuji Produced in association with The Royal Ballet and Opera

2026.3.19 (木) 18:30 20 (金・祝) 13:00/18:00 21 (土) 14:00 22 (日) 13:00/18:00

英国バレエの最高峰、待望の再演！ 破滅的な愛と欲望のドラマ

2020年の上演時にはコロナ禍の影響により一部公演中止となってしまったマクミランの『マノン』がオペラパレスに再び戻ってきます。アベ・プレヴォーによって書かれたマノン・レスコーの物語は、プッチーニやマスネがオペラにしたのをはじめ、絵画や映画の題材としても幾度も取り上げられています。マクミランの『マノン』は英国バレエの最高峰と言われ、爛熟した退廃的な社交界と過酷な貧困が表裏一体となった18世紀フランスの格差社会を舞台に、人間の心の闇まで踏み込んで描かれています。愛しあいながらもひたすら破滅へと落ちてゆく若い二人のドラマはあまりに美しくかつ壮絶です。マクミラン独特のアクロバティックなリフトを多用したパ・ド・ドゥの数々が、マスネの胸を打つ美しい旋律と溶け合って二人の心情を強く訴えかけます。

制作協力：英国ロイヤル・バレエ&オペラ

Manon is produced in association with the Royal Ballet and Opera. This production was first seen at the Royal Opera House, London on 7th March 1974.

見どころ

ドラマティック・バレエの最高傑作

英国が生んだ偉大な振付家ケネス・マクミランの『マノン』は『ロメオとジュリエット』と並び称される、ドラマティック・バレエの傑作です。新国立劇場バレエ団では2003年に初演し、大きな反響を呼びました。今回は6年ぶり、4度目の上演。前回2020年に上演した際は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、途中で公演中止となりました。

感情やセリフがそのまま踊りになったような演劇性の高い振付が特徴のドラマティック・バレエ。『マノン』は中でも主役二人のパ・ド・ドゥが効果的に織り込まれており、観客の心を大きく揺さぶります。パリ郊外でのマノンとデ・グリュウの出会い、愛の一夜の後の寝室の場面、再会后二人が豪華なブレスレットをめぐる悶着から愛を確認し合う場面、そして第3幕でのすべてを失ったマノンが死に至る場面では、二人の心情を雄弁に語るパ・ド・ドゥが展開されます。とくに、第3幕での「沼地のパ・ド・ドゥ」はガラ公演でもたびたび上演される傑作です。

重厚で豪華絢爛な舞台美術

1731年に発行されたアベ・プレヴォーによる恋愛物語『マノン・レスコー』を原作とし、本作品では18世紀後半のフランス革命前のフランス・パリで下層階級に生まれた少女の波乱に満ちた人生が生々しくリアルに描かれます。当時の退廃的で誘惑に満ちた社会を表現した、巨匠ニコラス・ジョージアディスの重厚な舞台美術も大きな魅力のひとつ。今回は英国ロイヤルバレエで制作されたプロダクションを使用しての上演となります。



©Satoshi Yasuda

甘美でドラマティックなマスネの音楽

バレエ『マノン』の音楽はジュール・マスネの楽曲を、作曲家であり指揮者のレイトン・ルーカスが選曲・編曲したもの。実はマスネの同名のオペラの音楽は一曲も使われていないのです。

ルーカスはかつてバレエ・リュスのダンサーでもあり、歌曲「エレジー」やオペラ「サンドリオン（シンデレラ）」などからの、ドラマティックな振付や物語の展開にぴったり合った、甘美で官能的、哀愁漂う美しい音楽で構成されています。

現在はマーティン・イエーツによる新オーケストレーション版で上演されることが多く、今回の上演もこの版で行います。イエーツ自身が指揮する音楽にもご注目ください。

ものがたり

美しい少女マノンと神学生デ・グリュウは恋に落ち、駆け落ちをする。老富豪ムッシューG.M.はマノンの兄レスコーに彼女を愛人にしたいと持ちかけ、大金と引き換えにレスコーの同意を取り付ける。マノンとデ・グリュウはしばし共に暮らす。デ・グリュウの留守中にムッシューG.M.が現れ、大金でマノンを説得し愛人として彼女を連れ去ってしまう。ムッシューG.M.のパーティーでマノンとデ・グリュウは再会する。マノンへの愛を訴えるデ・グリュウに「カードでイカサマしてムッシューG.M.の金を巻き上げられれば一緒に行く」と答えるマノン。だがイカサマは見破られてしまう。



逃亡するマノンとデ・グリュウだが、マノンが捕まりアメリカに流刑となる。デ・グリュウはマノンを追ってアメリカへ。美しい彼女は刑務所でも看守に口説かれ、そこへデ・グリュウが現れる。彼は看守を刺し、マノンを連れて逃亡する。ルイジアナの沼地に逃げ込む二人。疲れ果てたマノンは倒れ、デ・グリュウの腕の中で静かに息絶える。

前回公演より 撮影：鹿摩隆司

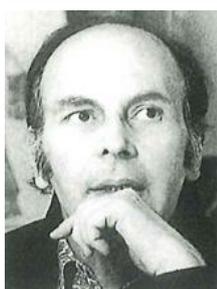
スタッフプロフィール

【振付】ケネス・マクミラン Sir Kenneth MACMILLAN



1929年スコットランド生まれ。サドラーズ・ウェルズ（現英国ロイヤル）バレエ学校で学び、46年にはサドラーズ・ウェルズ・シアター・バレエの創立メンバーとなる。その後コヴェント・ガーデンのロイヤルオペラハウスでも踊り、優秀なクラシック・ダンサーとしてだけでなく、面白く共感と呼ぶマイムも得意とした。52年にサドラーズ・ウェルズ・シアター・バレエでの最初の振付作品『夢遊病』がヒットする。これ以来『隠れ家』『招待』『春の祭典』『ラス・エルマナス』、そして最初の全幕バレエである「ロメオとジュリエット」など次々と優れた作品を発表。この間シュツットガルト・バレエ団やベルリン・ドイツ・オペラ・バレエのためにも作品を振り付けた。70年にアシュトンの後任として英国ロイヤルバレエ芸術監督に就任、全幕作品の『アナスタシア』『マノン』などを創る。77年に英国ロイヤルバレエの芸術監督を辞任して振付に専念、『マイヤリング（うたかたの恋）』『グローリア』『Valley of Shadows』『パゴダの王子』『三人姉妹』『ユダの木』などの作品を発表する。92年『マイヤリング』上演中のロイヤルバレエの楽屋で死去。

【美術・衣裳】ニコラス・ジョージアディス Nicholas GEORGIADIS



アテネに生まれる。アテネおよびニューヨークで建築を学ぶ。ロンドンのスレード・スクールで舞台美術を学び、後に同学校で教鞭をとる。『招待』『アゴン』『ラス・エルマナス』『ロメオとジュリエット』『大地の歌』『マノン』『マイヤリング（うたかたの恋）』『パゴダの王子』など、マクミラン振付作品の美術を次々と担当。『オルフェウス』と『テンペスト』ではイヴニング・スタンダード賞を受賞している。またヌレエフからも依頼を受け、『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ライモンダ』『ドン・キホーテ』『ワシントン・スクエア』で美術を手がける。英国ロイヤルオペラの『アイーダ』『トロイ』をはじめとするオペラ作品のほか、演劇作品もデザインしている。1984年、舞台美術界への貢献を評価されて名誉大英勲章(CBE)を授与される。2001年死去。

【照明】 沢田 祐二 SAWADA Yuji



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『マノン』『カルメン』『オルフェオとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレステイア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊國屋演劇賞。第1回橋秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【編曲・指揮】 マーティン・イエーツ Martin YATES



20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニャ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウエスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』『夏の夜の夢』『マクベス』を指揮、『くるみ割り人形』を編曲・指揮している。

配役・プロフィール

2026年	3/19 (木) 18:30	3/20 (金・祝) 13:00	3/20 (金・祝) 18:00	3/21 (土) 14:00	3/22 (日) 13:00	3/22 (日) 18:00
マノン	小野絢子	柴山紗帆	米沢 唯	小野絢子	柴山紗帆	米沢 唯
デ・グリュエ	福岡雄大	速水涉悟	井澤 駿	福岡雄大	速水涉悟	井澤 駿
レスコー	奥村康祐	木下嘉人	渡邊峻郁	奥村康祐	木下嘉人	渡邊峻郁
レスコーの 愛人	木村優里	山本涼杏	木村優里	木村優里	山本涼杏	木村優里



小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年D.ビントレー『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、W. タケット『くるみ割り人形』クララ/金平糖の精などがある。25年『ジゼル』ロンドン公演では初日公演の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評された。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』をはじめとする古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』の主役、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。



福岡 雄大 FUKUOKA Yudai <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19年中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞、25年牧阿佐美賞受賞。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ジゼル』などの古典やP.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーン、H.ランダー『エチュード』などを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主演デビューを果たし、21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。古典作品やF.アシュトン『夏の夜の夢』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主演、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』などを踊っている。24年中川鋭之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

レスコー



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主演のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演での白ウサギなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主演やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。



木下嘉人 KINOSHITA Yoshito <ファースト・ソリスト>

京都府出身。寺田バレエ・アートスクールで寺田博保のもとでバレエを始め、キーウ国立バレエ学校で学ぶ。ドネツク・バレエにてワジム・ピーサレフに師事し、チューリンゲン・バレエ、ライプツィヒ・バレエ、ザルツブルク州立劇場バレエ団でソリストとして活躍。2015年に帰国し新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。16年ソリスト、21年ファースト・ソリストに昇格。マクミラン『ロメオとジュリエット』マキューシオ、『マノン』レスコー、ウィールドン『不思議の国のアリス』白ウサギ、中村恩恵『火の鳥』タイトルロールなど主要な役を踊っている。NBJ Choreographic Group では意欲的に作品を発表しており、2026/2027 シーズン

「DANCE to the Future 2026」でバレエ団委嘱作品を発表予定。

レスコーの愛人



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主演デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主演のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王、H.ランダー『エチュード』などを踊っている。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



山本涼杏 YAMAMOTO Suzu<ソリスト>

埼玉県出身。アクリ・堀本バレエアカデミー、ポリショイ・バレエアカデミーを経て、2022年新国立劇場バレエ団に入団。『白鳥の湖』大きな2羽の白鳥、『ラ・バヤデー』影の王国第2 Va、『眠れる森の美女』カラボス、D.ドウソン『A Million Kisses to my Skin』、N.ドゥアト『ドゥエンデ』、D.ピントレー『アラジン』ダイヤモンド、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』などを踊る。24年ファースト・アーティスト、25年ソリストに昇格。

公演概要

2025/2026 シーズン

新国立劇場バレエ団『マノン』

Manon

振付	ケネス・マクミラン
音楽	ジュール・マスネ
編曲	マーティン・イエーツ
美術・衣裳	ニコラス・ジョージアディス
照明	沢田祐二
監修	デボラ・マクミラン
芸術監督	吉田 都
出演	新国立劇場バレエ団
指揮	マーティン・イエーツ
管弦楽	東京交響楽団

【公演日程】

2026年3月19日(木) 18:30

2026年3月20日(金・祝) 13:00 **託児** / 18:00

2026年3月21日(土) 14:00

2026年3月22日(日) 13:00 / 18:00

*開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス (京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結)

【予定上演時間】約2時間45分(休憩含む)

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/manon/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	14,850円	12,650円	9,350円	6,050円	4,950円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2026 年 2 月 14 日（土）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入（座席選択可）>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

イープラス <https://eplus.jp/> 【Pコード：533-163】

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード：36893】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

【割引等のご案内】

お申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。（D・Z席は対象外）

高齢者割引（65歳以上）・学生割引：**5%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィスで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書・学生証を確認させていただく場合がございます。

ジュニア割引（中学生以下）：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィス、各プレイガイドで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書を確認させていただく場合がございます。

当日学生割引：**50%割引**

公演当日に残席がある場合のみボックスオフィス（窓口・電話）で取扱。要学生証。

障がい者割引：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）のみ取扱。要障害者手帳等。

車椅子席はボックスオフィス（窓口・電話）にてお求めください。

U25 優待チケット：**正価の半額以下** ※バレエ/ダンス/演劇公演の場合

その他、25歳以下のふだん劇場に足を運ぶ機会の少ない世代の方々に舞台芸術により親しんでいただくため、新国立劇場ではお得な優待チケットのサービスをご用意しております。

詳細はこちら：<https://www.nntt.jac.go.jp/ticket/youth-members/>